

令和7年度 学校評価報告書 【大洲市立三善小学校】

教育目標 『明るく 元気に さわやかに！ ～地域とともに～』

経営の重点

- 他人を思いやる心、感謝する気持ちを大切に、チャレンジする心、豊かな人間性を育む教育の推進
- 小規模校の特性を生かした、一人一人の個性や創造性を伸ばす教育課程の実施
- 教職員の資質・能力の向上と、児童の基礎・基本の確実な定着および確かな学力の向上、郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成
- 児童と教職員の温かい人間関係構築と、明るく主体的に活動する児童の育成
- 学校・家庭・地域が一体となり、三善地区の伝統と良さを生かしつつ、社会の新たなニーズに柔軟に対応できる学校づくり

〔評定 A：順調 B：概ね順調 C：あまり順調でない D：順調でない〕

区分	具体的項目	取組・評価結果	○成果 ●改善	評価委員の意見	評定
教育課程・学習指導	○基礎学力の定着のための個に応じた指導と支援	○複式学級に適した授業改善 (算数科の授業公開を実施し研修する。) ○ICT機器(タブレット端末)の積極的な活用 ○補充学習「ハルニレ教室」の実施 ○基礎的な問題を出題した月末テストの実施	○学習リーダーを中心に学習を進める意識が持てるようになり、間接指導時にも自分でできることを考えて取り組む姿勢が見られた。 ○ICTの活用と多様な指導体制により学びの幅が拡大した。 ○月末テストに向けて、目的意識を持って取り組む児童が増えた。 ●基礎学力の定着と個別指導が必要である。 ●ICTの効果的な取り入れ方については、さらに研修が必要である。	・学校、先生方が頑張ってくれていることと思う。 ・読書離れが進んでいると聞いている。朝学習の週一回ずつある読書の時間と、外部講師の読み聞かせを継続していく。 ・児童の方から図書室での貸し出し冊数の増冊の要望出ているとのことなので、検討をしてほしい。	A
	○学習習慣の定着と意欲化を図る学習環境の整備	○「読書ノート」による読書活動の充実 ○地域のボランティアによる「読み聞かせ」の実施	○国語科と連携して読書活動を推進した。 ○家庭学習として定期的に取り組ませている。 ●児童の読書活動への取り組みが二極化しており、活発でない児童の参加を促すための手立てを講じる。		
児童の肯定的評価(95%) 保護者の肯定的評価(89%) 教職員の肯定的評価(100%)					
生徒指導	○いじめ・不登校の防止対策	○月1回の「ふれあいアンケート」の実施によるいじめ等の予防と早期発見・対応 ○全教員による教育相談「あのねタイム」の実施による児童の悩みの把握と早期対応 ○「大洲市のきまり」や「夏休み・冬休みのくらし」を活用した生活指導の徹底	○毎月のアンケートと教育相談により、きめ細かな情報収集と早期対応ができた。 ○日常的なコミュニケーションを図る中で、いじめに繋がる言動は常に意識させており、未然防止に努めている。 ●市や校内の規定に関する把握の徹底をする。	・先生方が児童と一心同体になって日々を送っている。地域のものも大きな安心感がある。 ・大きな声を出す機会があるといい。 ・あいさつ標語は、自治会が懸垂幕と看板を作成し、コミュニティセンターと学校に設置した。地域もバックアップしている。	A
	○保護者・地域の教育力を生かした健全育成	○PTA役員会における「はぐくみ委員会」の開催 ○コミュニティセンターへのあいさつ標語の応募	○はぐくみ委員会を実施したことで、保護者と情報を共有し、学校でも情報として共通認識が持てた。 ○あいさつ標語は、地区への所属感を高めていると思う。		
児童の肯定的評価(99%) 保護者の肯定的評価(100%) 教職員の肯定的評価(100%)					

健康・安全管理	○基本的な生活習慣の育成	○健康観察の確実な実施と、児童の健康状態の把握 ○フッ素洗口の実施と歯磨き指導の工夫 ○健康教育参観日の実施 ○中学校区合同保健委員会による防災教育の推進 ○避難訓練と引き渡し訓練の実施	○衛生習慣・安全意識が浸透し主体的な行動ができた。 ○生活実態の把握と家庭への情報発信を行った。 ○地震、火事、水害の避難訓練に加え、原子力防災訓練や外部講師による講話などを実施し、多様な災害に対する意識付けをした。 ●日常の場面で、保健指導に繋げる機会を増やす必要がある。	・緊急時に臨機応変に対応できているといことは、とてもありがたい。 ・先生が言われたことが児童に行き渡っている。行動に統一感が出る。素晴らしい。 ・今後も継続して、訓練を重ねていってほしい。	A
	○児童・教職員・保護者・地域の安全に関する意識の高揚	○毎月10日に行う安全点検と教職員による修繕と業者への修繕連絡 ○来校者に対する積極的な声掛け ○大洲市危機管理課と連携した避難所の設置	○安全点検の徹底と事故の未然防止に努めた。 ○管理職を中心に環境整備を行い、修繕等、相談しやすい体制できている。 ○来校者には気持ちの良い挨拶をし、知らない方には所属と氏名を伺っている ●日頃から計画的な環境整備が必要である。		
	児童の肯定的評価（90%） 保護者の肯定的評価（96%） 教職員の肯定的評価（100%）				
保護者・地域との連携	○保護者・地域の諸団体と連携した児童の健全育成	○地域の教材や人材を生かした体験活動等の充実 ○PTAが運営する「みよし体験塾」の実施 ○保護者や地域による登校の見守り活動	○地域の方との関わりが児童に見える形で実現できた。地域の方に協力していただく活動を計画・実施することができ、児童にとって大変良い機会となった。 ○保護者、地域が協力して子供の健全育成を図った。 ●中学年で行ったような地域の方々へ感謝の気持ちを伝えるための活動を、他の学年でも計画し実施したい。	・児童と地域との交流でき、良い機会だった。子供たちは最後までよく動いていた。小さな学校だから、集大成はどうかと思っていたが、「生」の子供たちと触れ合えてよかった。 ・HPは、地域のものはあまり見ないので紙媒体でよい。無理しない範囲で。	A
	○各種通信、ホームページ等を通じた情報の発信	○学級通信や校報等での定期的な情報発信 ○ホームページ更新による児童の様子の紹介 ○児童の地域行事への参加の呼び掛け	○通信や学校だより、ホームページを活用して学級の様子を保護者等へ発信し、情報公開をした。 ●ホームページの更新ができなかった。学級通信等も活用して情報発信をしていきたい。		
	児童の肯定的評価（95%） 保護者の肯定的評価（79%） 教職員の肯定的評価（92%）				
その他	○ゆとりと信頼感のある温かい職場づくり	○勤務時間を意識することで、ワークライフバランスの充実に図る。	○職員間で公私の区別なく何でも話せる雰囲気がある。 ○職員の笑顔や笑い声が、子どもたちにも良い影響を与えている。 ●計画的に仕事を進めるために事前の準備や情報収集、綿密な計画立案が効率的に仕事へ繋がっていく。	・先生方にはよくやってもらっている。 ・学校を残したいが、PTAとも考えを共有したい。	A
	教職員の肯定的評価（100%）				
総括	教育活動を通じて、児童の主体的・自律的な面では確かな成長が見られた。学校・家庭・地域が一つになって子供を育てる土壌が整っており、職員間の良好な関係も大きな強みである。今後は、個々の学力アップや読書離れへの対策、効率的な仕事の進め方を職員間で検討し、教育環境の充実とワークライフバランスを考えた働き方を推進していきたい。				